

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンパリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論II	NSF12_007	必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID		オフィスアワー	
保坂 稔	教員控室	kango		授業終了後に質問等受付	
授業の目的・概要		疾病的特徴、病態生理を理解し臨床で活用できる知識を獲得することを目標とする。この科目では消化器系、血液造血器系において主要な疾患の理解を深めるとともに疾患に対する考え方、診断法、治療法について学習する。			
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習)	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 実習	<input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実技	<input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ブレーンストーミング <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク
学習上の助言	解剖、生理学が基礎になります。このことを念頭に予習復習を行うことで効率的な学習ができます。教科書を熟読して講義に臨むと理解が進みます。				
教科書	・専門分野II 成人看護④ 血液・造血器（系統看護学講座）医学書院 ・専門分野II 成人看護⑤ 消化器（系統看護学講座）医学書院				
参考書	ハリソン内科学/メディカル・サイエンス・インターナショナル				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針
① 臨床的に重要な疾患についての基本的な知識と考え方を理解し、説明できる。	HSU(2)				
② 新たな事象に遭遇したとき考察して問題を解決する能力を身につける。	HSU(5), NS(5)				
授業計画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	消化器(1)消化管の構造と機能および症状とその病態	講義	疾病治療論を学ぶ意義を理解し、次回の講義範囲を予習する。		
2	消化器(2)検査と治療①②	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
3	消化器(3)疾患の理解①② 消化管疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
4	消化器(4)疾患の理解③④ 肝臓・胆・脾疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
5	血液・造血器(1)血液の構造と生理、造血の仕組み、主要症候と検査	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
6	血液・造血器(2)疾患と治療の理解①②	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
7	血液・造血器(3)疾患と治療の理解③、輸血療法	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
8	疾病治療論IIまとめ	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する。		
試	達成度評価(評価のポイントを参照)				

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】